

WOMAN

ウーマン クリニック

低用量ピル



西野レディース
クリニック院長

西野 照代

にしよ・てるよ 昭和54年、兵庫医科大学卒。翌年より大阪回生病院、
大阪大学医学部付属病院、大阪船員保険病院の勤務医を経て、平成4年
より大手前病院産婦人科医長。平成17年に現クリニックを大阪市中央区
に開院。

月経痛がひどく仕事や学
校を休んだり、月経時の出
血量が多く貧血気味だった
り、月経不順のため予定が
立てられず困った経験はあ
りませんか？ そんな時、
低用量ピルを試してみても
どうでしょう。

ピルというとホルモン剤
による副作用とか避妊薬と
いうイメージばかりが強
く、抵抗があるかもしれま
せんが、女性自らが行う確
実な避妊法である以外に、
多くの副作用・利点が報告
されています。
ピルを内服することによ
り月経痛が軽くなり、人に
よっては鎮痛剤が不要にな

ることもしばしばありま
す。また、月経血量が徐々
に減少し、貧血が改善され
ます。その上、月経周期が
規則正しく、ほぼ28日周期
になるため、仕事や旅行の
計画が立てやすくなります。
す。その他にも、ニキビや
多毛症が改善されたり、良
性の乳房疾患や骨盤内感染
症（子宮・卵管・卵巢の炎
症）を減少させ、長期間の
ピル内服により、発見しに
くい卵巣がんや子宮体部が
ん発生の可能性が低下する
といわれています。

では、気になる副作用は
どうでしょう？ ピルを内
服すると太るとか、ホルモ
ン剤のためがんになると思
い込んでいる人が多いのは
とても残念です。現在のピ
ルは、ホルモン量を効果が
出る最低量まで減らしてあ
るため、副作用もほとんど
気にならなくなっています。
吐き気、頭痛、乳房の張り、

不正出血などが起こること
がありますが、大半は3カ
月以内に治まります。ピル
中止後の妊娠や胎児への影
響もありません。
ただ、非常に稀ではあり
ますが、血栓症が起こるこ
とがあります。喫煙者がピ
ルを内服すると、血栓症の
危険性が高まるので禁煙を
お勧めします。それ以外に
も高血圧や糖尿病、乳がん
や高脂血症の人、授乳中な
ど、ピルが内服できなかつ
たり内服に注意を要する場
合があります。

副作用を補って余りある
副作用・利点をもつピルで
すが、クラミジアやエイズ
などの性感染症予防にはコ
ンドームが必要です。
月経痛や月経過多とそれ
による貧血、月経不順で悩
んでおられる方、毎月の月
経時に起こるトラブルが軽
減できるかもしれない低用
量ピル。一度産婦人科医に
ご相談ください。